

～最近の米国経済動向について～

ISM製造業、非製造業景況指数

3月の米供給管理協会(ISM)製造業景況指数は、53.7と前月の53.2から0.5ポイント上昇しました。前々月(1月)をボトムとして、2カ月連続の上昇となりました。

一方、3月のISM非製造業景況指数は、53.1と前月(2月)の51.6から1.5ポイント上昇しました。(図表①) 各項目別に見てみると(下図)、ISM製造業景況指数では、生産や受注残が大きく寄与した一方、ISM非製造業景況指数では、雇用、価格指数の寄与が大きくなりました。

(ISM製造業景況指数)

(ISM非製造業景況指数)

	3月	2月	前月比		3月	2月	前月比
指数	53.7	53.2	0.5	指数	53.1	51.6	1.5
新規受注	55.1	54.5	0.6	生産・販売	53.4	54.6	▲1.2
生産	55.9	48.2	7.7	新規受注	53.4	51.3	2.1
雇用	51.1	52.3	▲1.2	雇用	53.6	47.5	6.1
入荷遅延	54.0	58.5	▲4.5	入荷遅延	52	53	▲1.0
在庫	52.5	52.5	0.0	在庫	48	50.5	▲2.5
顧客在庫	42.0	46.5	▲4.5	価格	58.3	53.7	4.6
価格	59.0	60.0	▲1.0	受注残	51.5	52	▲0.5
受注残	57.5	52.0	5.5	新規輸出受注	49.5	47.5	2.0
輸出	55.5	53.5	2.0	輸入	50.5	47	3.5
輸入	54.5	53.5	1.0	在庫水準	60.5	62	▲1.5

米国の物価動向

2月の消費者物価指数(前年比)は、1.1%と前月から0.5%の下落、消費者物価(食品・エネルギーを除く)コア指数(前年比)は1.6%と前月比変わらずとなりました。(図表②)

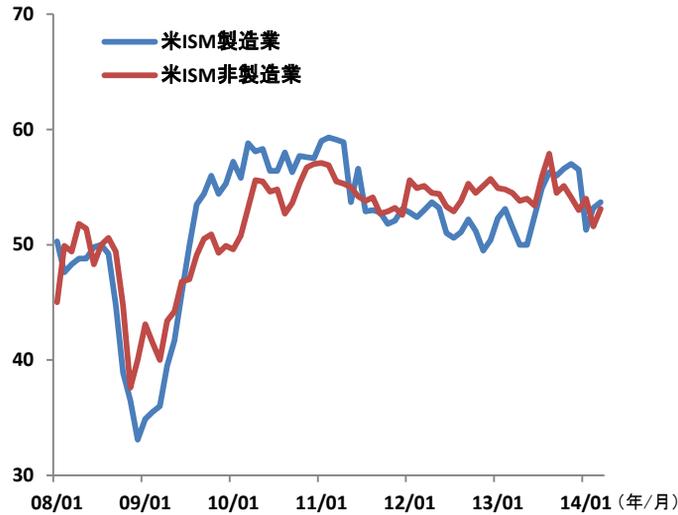
米国の雇用状況

3月の雇用統計では、失業率が6.7%と前月比変わらず、非農業部門雇用者数は19.2万人増と市場の事前予想20万人増を少し下回りました。(図表③) 今回の統計では、1月と2月の非農業部門雇用者数が上方修正されました。専門職、ビジネスサービス、ヘルスケア、鉱業、宿泊施設などの分野で雇用者数が増加しました。雇用については回復のトレンドに乗ってきていると思われます。

総じて、最近の米国経済は、新興国の要因や寒波等の悪天候による景気へのマイナス要因等はあったものの、順調に回復してきているものと思われます。

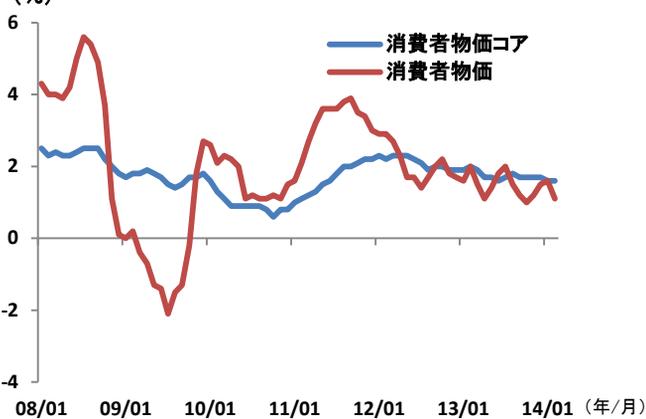
【図表①: ISM製造業、非製造業景況指数の推移】

(データ期間: 2008年1月～2014年3月、月次)



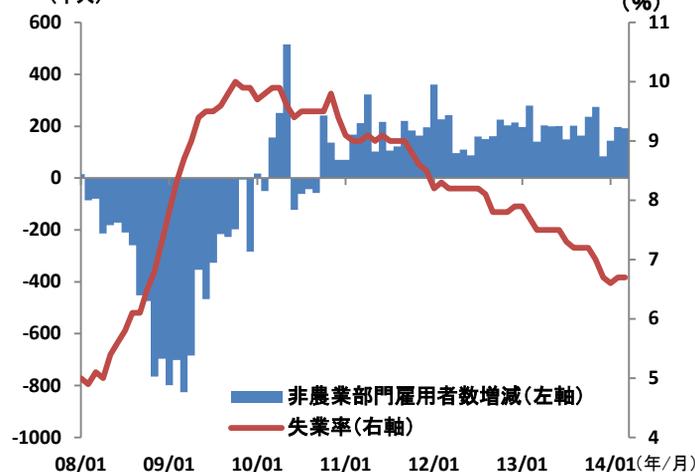
【図表②: 消費者物価、消費者物価コア指数の推移】

(データ期間: 2008年1月～2014年2月、月次)



【図表③: 雇用統計の推移】

(データ期間: 2008年1月～2014年3月、月次)



(出所: ブルームバーグ、米供給管理協会(ISM)のデータをもとに、ニッセイアセットマネジメントが作成)

当資料は市場環境に関する情報の提供を目的としてニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。当資料のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。